

新緑の「なごや東山の森」

東山に住んでいた頃から平和公園南部、「なごや東山の森」にはよく散策に行った。星ヶ丘からは急な坂道を登ると、写真のように「平和公園1万歩コース」に出る。ここを回って公園に向かうのもよいが、最近は草木のなかを下り「湿地帯」に向かうことが多い。ちょっとした探検気分である。急な下り坂は腰痛もちにはこたえるが。



湿地帯には稲などが植えられ、散策路も整備されている。おたまじゃくしが数え切れないほどいて、「自然」を感じさせる。訪れる人も多く、狭い道が「渋滞」することもある。この一帯に「お知らせ」の看板が立てられており、鉛が基準を超えて検出されたので立ち入り禁止という。せっかくの散策場所なのだが心配だ。



名古屋市は2003年7月、この一帯410ha余りを対象とした「なごや東山の森づくり構想」を策定した。ここは幻の名古屋オリンピックのメイン会場予定地だった。この時から地道に活動を展開していたのが、現在の「なごや東山の森づくりの会」(<http://www.higashiyama-mori.sakura.ne.jp/>)だ。この名古屋にとって貴重な里山を守るうえで、行政とともにNPOや住民の活動に注目していきたい。

(2008年4月29日 記)